

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成24年12月14日に不適合管理委員会で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
なお、不適合管理委員会で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

1. GIグレード 0件

2. GIIグレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全上の影響度合い
1	2号機	放射性廃棄物処理設備区域送風機の切替作業に伴い、送風機(C)を停止後、逆流防止ダンパが閉にならなかったため、手で助勢した際にダンパ駆動部に指を挟み負傷した。業務車にて病院に搬送、治療し帰宅(不休)。【平成24年12月14日公表済み】 http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2012/pdf/24121401p.pdf	GIII以下

3. GIIIグレード 9件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	1号機	原子炉建屋給気隔離弁(A)の点検時、シリンダの作動空気入口配管継ぎ手部から僅かな作動空気の漏れ(カニ泡程度)を確認した。当該継ぎ手部を修理。	
2	1号機	高圧窒素ガス供給系非常用(A)系窒素ガス貯槽ドレン弁の点検時、弁棒の曲がりを確認した。当該弁棒を修理。	
3	1号機	補助建屋送風機(A)の逆流防止ダンパが送風機停止時に閉まらないことを確認した。当該ダンパを点検・修理。	
4	1号機	制御棒駆動系ポンプ吸込み側フィルタのベント弁(A)の弁棒の曲がりを確認した。当該弁棒を点検・修理。	
5	3号機	原子炉補機冷却海水系ストレーナ(F)差圧伝送器左側ベント弁にシートパスを確認した。当該弁を点検・修理。	
6	4号機	タービン建屋天井クレーン(No. 2)の点検時、走行用電動機(運転室側、反運転室側)各部寸法の判定基準超えを確認した。当該電動機を修理。	
7	4号機	タービン建屋天井クレーン(No. 2)の点検時、走行用電動機冷却ファン(運転室側、反運転室側)用電動機の各部寸法の判定基準超えを確認した。当該電動機を修理。	
8	6号機	非常用ディーゼル発電機(B)排気系統配管の保温材から水(雨水)の滴下を確認した。当該部を点検・修理。	
9	その他	大湊側雑固体焼却設備圧力指示スイッチの点検時、内部にあるマイクロスイッチに動作不良を確認した。当該スイッチを修理。	